

- 2013年10月:「水銀に関する水俣条約外交会議」を熊本市及び水俣市で開催
「水銀に関する水俣条約」を全会一致で採択

- 「水銀に関する水俣条約」の意義

先進国と途上国が協力して、水銀の供給、使用、排出、廃棄等の各段階で総合的な対策に世界的に取り組むことにより、水銀の人為的な排出を削減し、**地球規模の水銀汚染の防止**を目指すこと

- 2015年:条約締結に向け、**「水銀による環境の汚染の防止に関する法律(水銀汚染防止法)」**の制定、大気汚染防止法や**廃棄物処理法施行令の改正**等

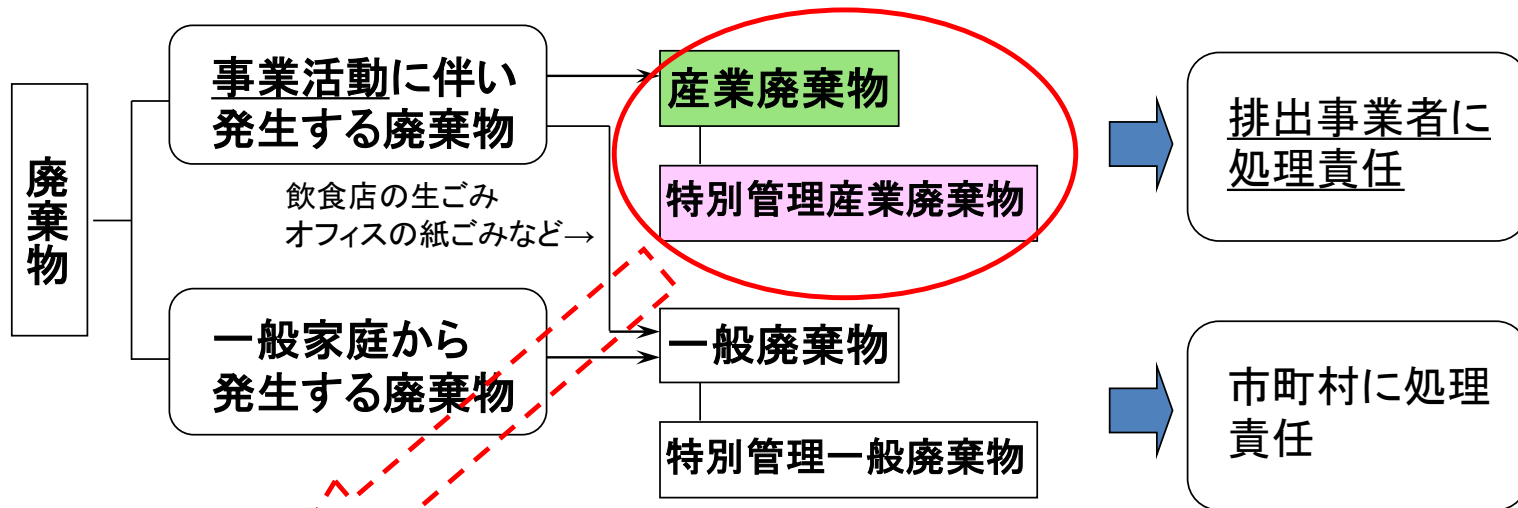
- 水銀汚染防止法案に対する附帯決議

『**退蔵されている水銀血圧計及び水銀体温計**については、将来的な不適正処理のリスクを低減するため**短期間に集中的に回収・処分**していくことが望ましいことから、市町村及び事業者団体等と連携し効率的に回収等を行う枠組みを早期に構築、実施すること。』

- 2016年2月:日本が条約を締結
- 2017年8月16日:条約発効**

⇒水俣条約の意義に照らし、また法案の附帯決議に応じて、
水銀血圧計等回収促進事業を実施している。

廃棄物の種類と区分



産業廃棄物

水銀使用製品産業廃棄物 (H29年10月に制度施行)
 ……医療機関その他事業所で使用済となった
 水銀血圧計・体温計・温度計など
 * 製品に使用されている水銀の回収義務があり、水銀使用製品
 産業廃棄物の運搬・処理の許可をもった業者に委託

特別管理
産業廃棄物

廃水銀等 (H28年4月に制度施行)
 ……特定施設から生じる廃水銀、水銀血圧計等から回収した水銀
 * 水銀使用製品使用中もしくは、排出場所への運搬途上で破損し漏
 洩した水銀は該当しない

医療機関が排出しうる
水銀廃棄物の種類

早期に回収・処分を促す背景

水銀血圧計等の廃棄処理費用高騰のリスク回避

規制強化

規制・時限的禁止

- ・ 水銀、水銀使用製品の輸出入
- ・ 水銀使用製品の製造

条約の発効により、
2020年末で一部の国を除いて
国際的に原則終了

水銀需要低下

国際的にも、資源としての水銀需要が低下し、水銀廃棄物から回収した水銀の売却(輸出)が難しくなる

廃棄処理費UP

再資源化した水銀の売却による収益が得にくいため、廃棄物処理費用が高騰する可能性がある

- ・ これまでの処理費用(見積金額)
= 処理原価 + 利益 - **水銀売却益**
- ・ 今後、想定される処理費用(見積金額)
= 処理原価 + 利益

まずは、早期に処分をすることを推奨

集団で集約して回収することの意義・利点

さらに可能であれば、集団で集約するなどして短期間で集中的に回収すると効率的

1. 積載効率を良くすることによる運賃の低減 【集団で回収する利点】

産業廃棄物を運搬する車両は、積載重量が2もしくは4トンのトラックが一般的であり、一度に多くの廃製品を運搬することが出来る。

廃製品1個の運搬でも満載した運搬でも、どちらも車両数は同じ1台であるため運賃は変わらない。よって、集団回収をすることで廃製品1個当たりの運賃は大幅に下がる。

積載効率“悪” ⇒ 廃製品1個あたりの運賃高



積載効率“良” ⇒ 廃製品1個あたりの運賃安



2. 廃製品の拠点集約による運賃等の削減 【更に、集約して回収する利点】

廃製品を回収する際、各現場を巡回するよりも、1ヶ所に集約して一度に回収する方が、回収の移動距離・時間、消費燃料、積込み作業量、マニフェスト発行の手間は少ない。集団で連携して1カ所に廃製品を集約できれば、さらに費用を抑えることができる。

各現場を巡回回収
⇒ 運賃等がやや安い



1ヶ所に拠点集約して回収
⇒ 運賃等がより安い



【参考】環境省ウェブページ「水銀廃棄物関係」

<http://www.env.go.jp/recycle/waste/mercury-disposal/index.html>

水銀廃棄物に関する各種資料が掲載されています。

特に、当該ウェブページ下部の「医療機関に退蔵されている水銀血圧計等回収マニュアル」には、回収促進事業のフローや個別実施内容等が記載されていますので、御参照ください。

【水銀使用製品の廃棄に関する技術的な問合せ先】

株式会社リーテム（令和3年度環境省事業請負者）

担当：菅間、本間、柳

東京都千代田区外神田2-15-2

TEL 03-5256-7041

minamata_m@re-tem.com

※株式会社リーテムは水銀血圧計等の回収・処分を請け負うものではなく、処分に当たっての相談窓口であることを御留意ください。